

図書委員生徒が作った

図書館だより 12月号



担当：11HR 岩崎海音・15HR 杉山莉那

図書委員のおすすめ本 ～「冬」特集～

いよいよ冬本番。図書館入り口には、「冬の本」が飾られています。寒くて外に出たくない日は、お部屋で読書がいいですね。今月の図書館だよりでは、私たち図書委員から、冬のおすすめ本を紹介します。

「星降プラネタリウム」作：美奈川護



主人公の昂は、育った地元の離島に後ろめたい思いがあり、高校卒業後は一度も実家に帰ることもなく就職した。しかし、希望とは違う渋谷のプラネタリウムの部署に配属され、プラネタリウムの解説員として働くことになってしまった。そんな中、先輩である望月にプラネタリウムへ案内され、指先一つで宇宙を操り観客に星の解説をする仕事を目の当たりにする。そこで「人は何のために星を見るのか」という問いを通じて、自分の過去に向き合い始める…。プラネタリウムで働く人たちを書いた小説で、思わず星を見上げたくなる物語です。（杉山莉那）



「クリスマスピック」

作：J.K.ローリング

主人公の少年が宝物にしているぬいぐるみへの愛情と、少年が失ってしまったその宝物を見つけるために乗り出す長い旅の様子が描かれた、心温まる冒険物語。有名小説「ハリー・ポッターシリーズ」を手掛けた J.K.ローリングによるストーリーに、ページを捲る手が止まらなくなります。（岩崎海音）



「静岡書店大賞」を知っていますか？

「静岡書店大賞」とは、静岡県民に読んでほしい本を、静岡県内の書店員・図書館員が選ぶ文学賞で、今年で12回目になります。過去には宮島奈未さんの「成瀬は天下を取りにいく」や、ドラマ化もされた「忍者に結婚は難しい」など、話題作をたくさん排出しています。今年の「静岡書店大賞」は、12月3日に発表され、以下の各作品が受賞しました。興味を持った人は、ぜひ読んでみてください♪

小説部門大賞

「ぬくもりの旋律」岡田真理

児童書・新作部門大賞

「火の鳥 いのちの物語」

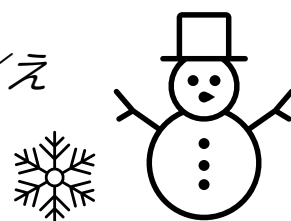
手塚治虫／原作 鈴木まもる／文・絵

児童書・名作部門大賞

「はじめてのおつかい」筒井頼子／さく 林明子／え

映像化したい文庫部門大賞

「おまわりさんとまねきねこ」植原翠



第3回朝読書

期末テスト明けから第3回朝読書を行いました。寒い中ですが少し早めに登校し、読書をすることで集中力も高まりました。読み切れなかった本は、冬休みを使って読了できるといいですね♪



第4回朝読書は
2月実施予定です

県東部のほとんどの高校が朝読書を行っています。私たちも、朝読書を通して自分自身を成長させましょう!!